

2018年9月期 第1四半期 決算補足説明資料

.....

株式会社フィックスターズ
(東証一部3687)

2018年2月2日



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。ご承知おきください。

目次

1. 2018年9月期 第1四半期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想

目次

1. 2018年9月期 第1四半期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想

2018年9月期 第1四半期 決算発表サマリ

■ 全体

■ 対前年同期比で増収・増益を達成

- ・ 売上高： **1,156百万円**（前年同期比 **+12.0%**）
- ・ 営業利益： **254百万円**（前年同期比 **+104.6%**）

■ 2018年4月1日付で1株につき5株の割合で株式分割を予定

■ セグメント

■ ソフトウェア・サービス

- ・ 自動運転関連を中心に高速化事業が安定成長
- ・ 合弁会社「**Fixstars Autonomous Technologies**」を設立し、自動運転事業の拡大をさらに加速
- ・ 採用状況の一部好転により社員数が増加
- ・ 大手メーカー研究所等を中心に、量子コンピュータ導入支援の引き合いが継続

■ ハードウェア基盤

- ・ 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが引き続きけん引

決算概要：損益計算書

- 売上、利益ともに対前年同期比で成長
- 旺盛な需要を反映しソフトウェア・サービス事業が大きく伸長

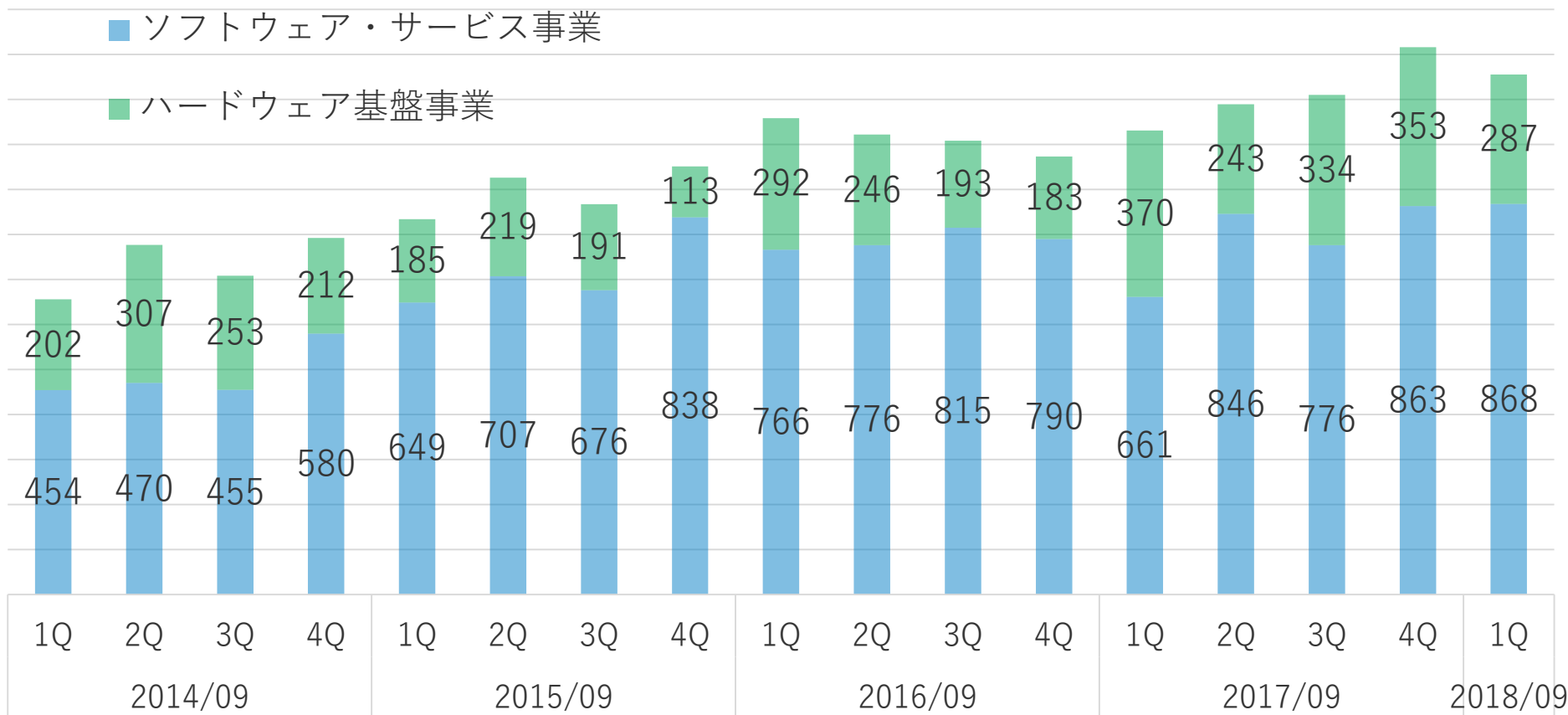
(単位：百万円)

項目	前第1 四半期累計	当第1 四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	通期業績 予想
売上高	1,032	1,156	+123	+12.0%	4,600
営業利益	124	254	+130	+104.6%	880
売上高 営業利益率	12.1%	22.1%	+10.0pt	-	19.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	71	179	+107	+151.2%	590
売上高 当期純利益率	6.9%	15.5%	+8.6pt	-	12.8%

業績：売上高

- ソフトウェア・サービス事業が安定して業績貢献
- 第1四半期として過去最高を達成

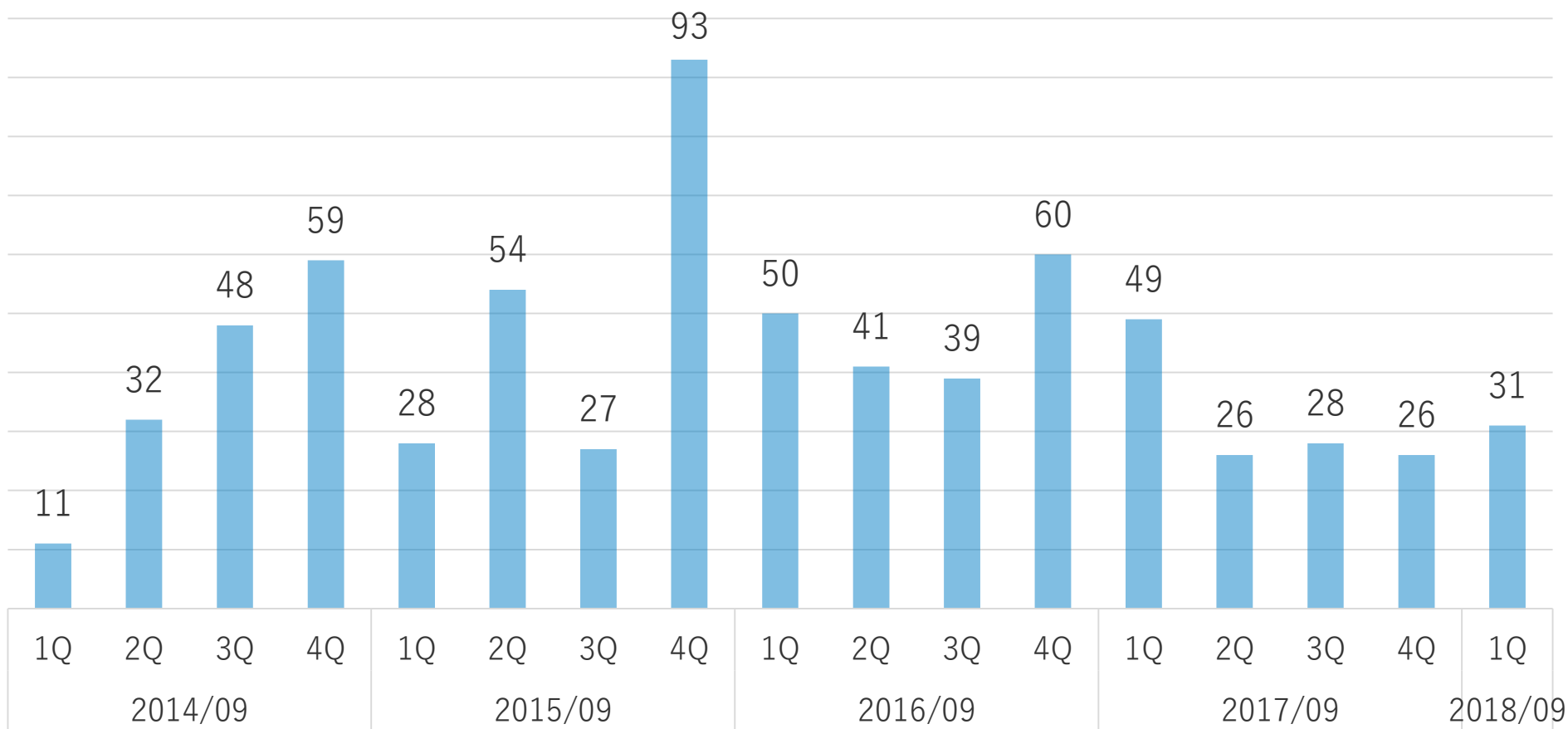
(単位：百万円)



業績：研究開発費

- 大容量高速ストレージ・サーバ“Olive”などのハードウェア関連開発が一服
- 今後はソフトウェア関連の人件費を中心に使用予定

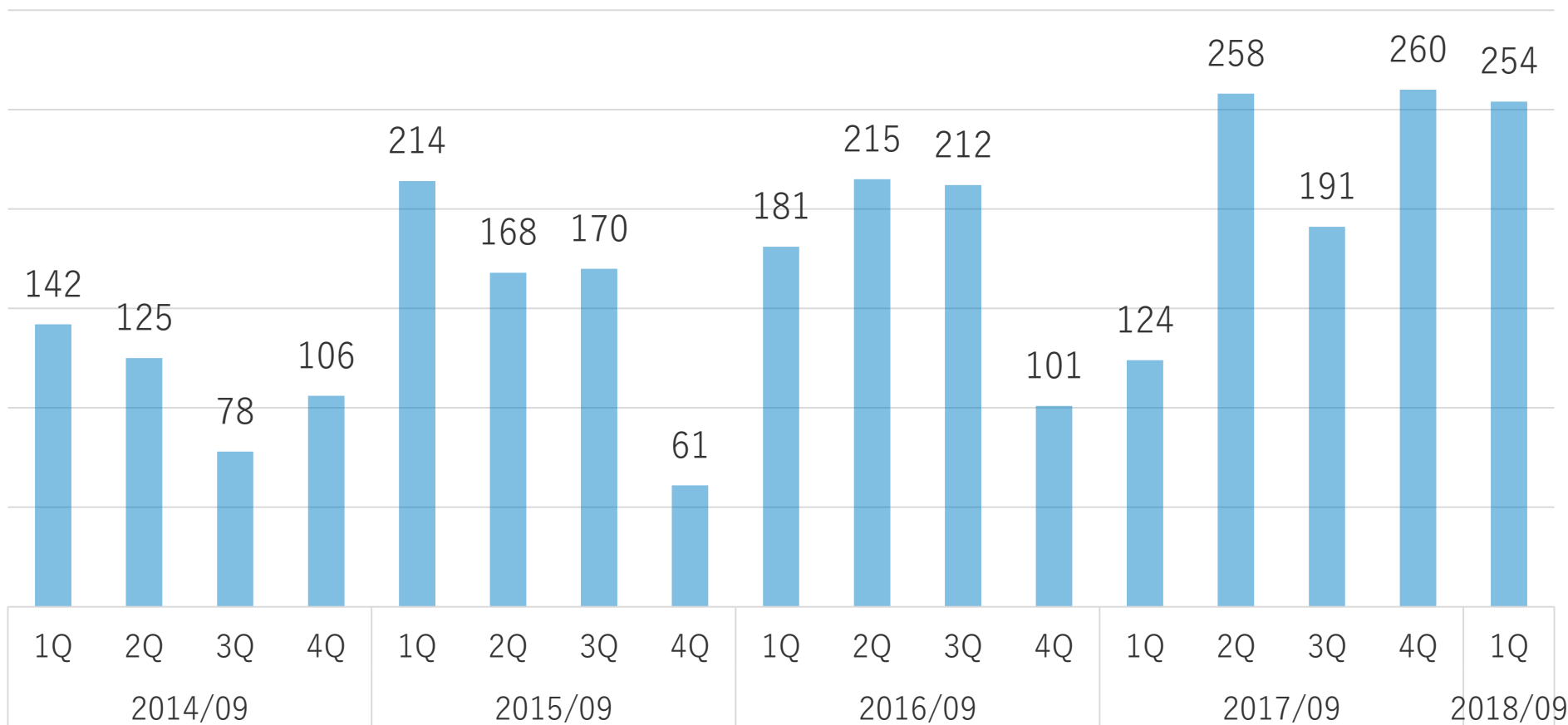
(単位：百万円)



業績：営業利益

- 利益率の高いソフトウェア・サービス事業の大幅伸長により、対前年同期比100%以上の成長を実現

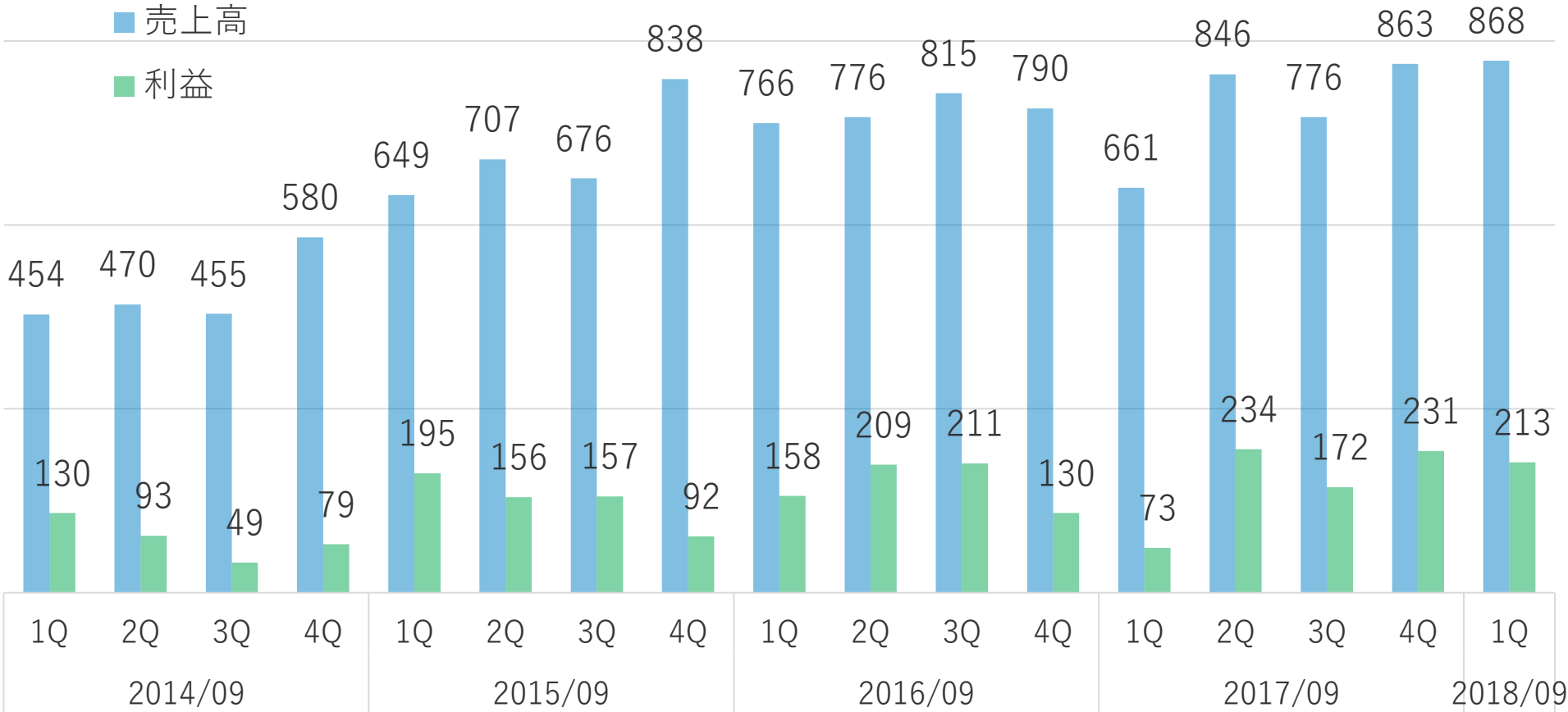
(単位：百万円)



業績：ソフトウェア・サービス事業

- 自動運転を中心に旺盛な需要が継続
- 業容拡大を反映し過去最高四半期売上高を達成

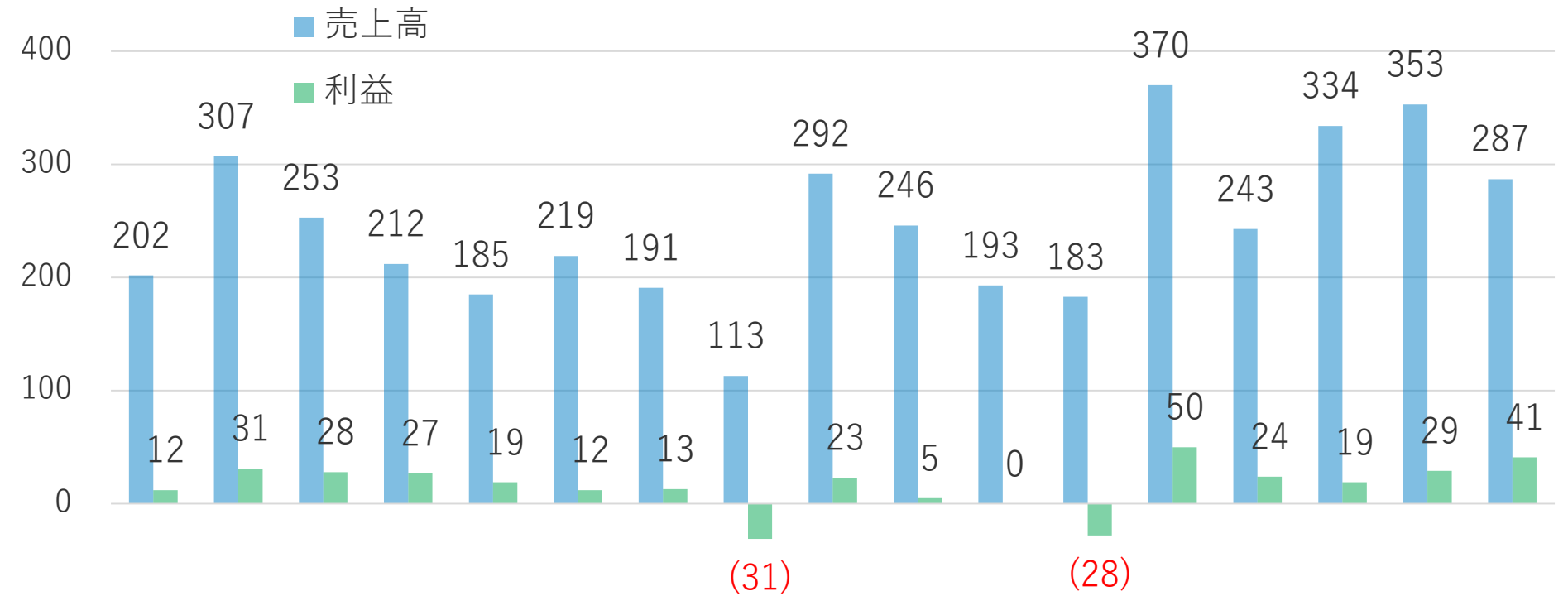
(単位：百万円)



業績：ハードウェア基盤事業

- 最終顧客の需要を反映し画像処理プロセッサ搭載演算ボードが対前年同期比減
- SSD事業の廃止により、利益率が改善

(単位：百万円)



(100)

1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
2014/09				2015/09				2016/09				2017/09				2018/09

Fixstars Autonomous Technologies設立

豊田通商グループの株式会社ネクスティエレクトロニクスとの合併会社を設立し、自動運転関連ソリューションの拡大を加速



ソフトウェア開発・高速化

限られたコンピュータリソース内で自動運転を実現するため、アルゴリズム開発から実装まで幅広く支援



車載向け半導体IPコア提供

次世代自動運転の実現のため、専用チップ開発に向けた半導体IPコアの提供



- ・ソフトウェア高速化技術
- ・半導体IPコア開発力



NEXTY Electronics

- ・国内外のネットワーク
- ・プロジェクトマネジメント力

目次

1. 2018年9月期 第1四半期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想

2018年9月期 通期業績予想のポイント

■ 全体

■ 売上、利益ともに**過去最高**の予想

- 売上高： **4,600百万円**（前期比 **+3.4%**）
- 営業利益： **880百万円**（前期比 **+5.4%**）

■ 2Qにオフィスの増床を予定。費用が先行し利益を一部圧迫

■ 新卒を中心に採用状況が好転し期末時点で**160名**後半を見込む

■ セグメント

■ ソフトウェア・サービス

- 自動運転関連を中心に既存事業の安定成長を実現
- 「helmi」や「Halide to FPGA」を通し、ストック型ビジネスを構築

■ ハードウェア基盤

- 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調
- ソフトウェア開発と組み合わせたソリューションを提供。顧客の量産体制入りに合わせ、新規ハードウェア提供を予定

2018年9月期 通期業績予想

2018年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2018年9月期 業績予想	4,600	880	877	590
2017年9月期 実績	4,450	835	813	557
増減率	+ 3.4%	+ 5.4%	+ 7.9%	+ 5.8%

配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2018年9月期 予想	5.2円	17円79銭	29.2%
2017年9月期 実績	25.0円	16円65銭	29.7%
2016年9月期 実績	23.0円	15円47銭	29.9%

※当社は2018年4月1日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行う予定でおります。1株当たり当期純利益金額については、2016年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※2018年9月期の配当金額は、分割後の株式数で算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の配当金額は、26.0円であります。